

平成 23 年度 大学職員情報課研究講習会~応用コース~

第 3 分科会：大学の情報公表と ICT の戦略的活用

B グループ討議内容まとめ

B グループメンバー

座 長：小島悠（東海大学）

発 表 者：後藤裕美（日本女子大学）

記 録：松田裕次郎（福原学園）、上山学（関西外国語大学）

時間管理：清水久美子（崇城大学）

調 整 役：酒井恒介（富士通）、山下進（帝京平成大学）

第 3 分科会 B グループは、以下の分科会討議テーマに沿って、討議を進めた。

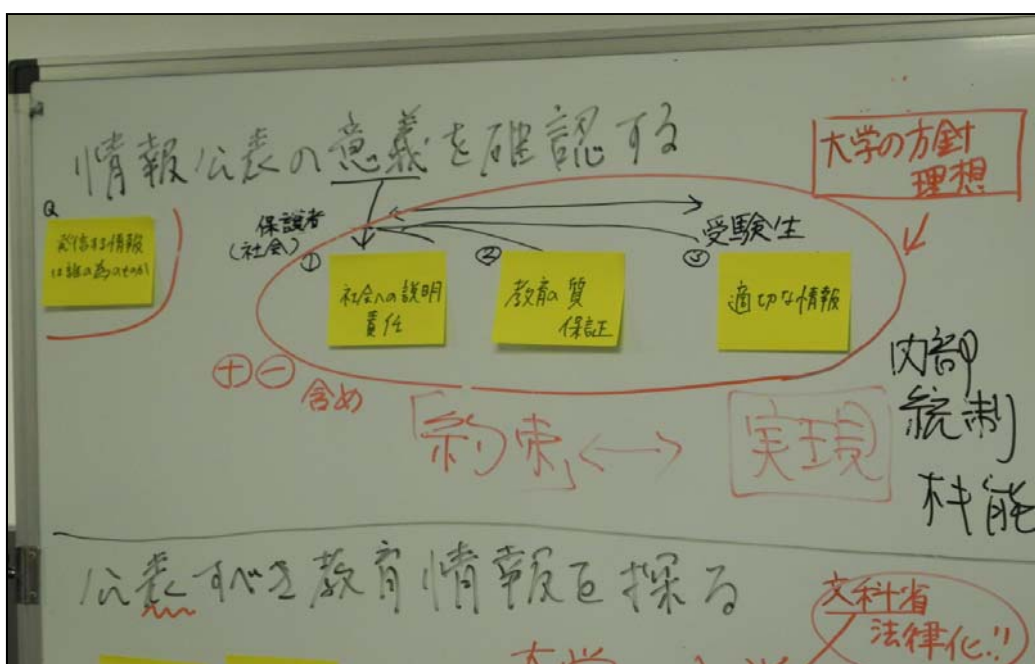
1. 情報公表の意義を確認する
2. 公表すべき教育情報の内容を探る
3. 情報を収集・分析・統合管理するための組織的な取組を理解する
4. ICT を用いた情報戦略を探る

テーマ毎の討議内容要約およびホワイトボードに記録したメモを以下に示す。

1. 情報公表の意義を確認する

討議当初、「社会への説明責任」、「教育の質保証」、「適切な情報」が挙げられた。

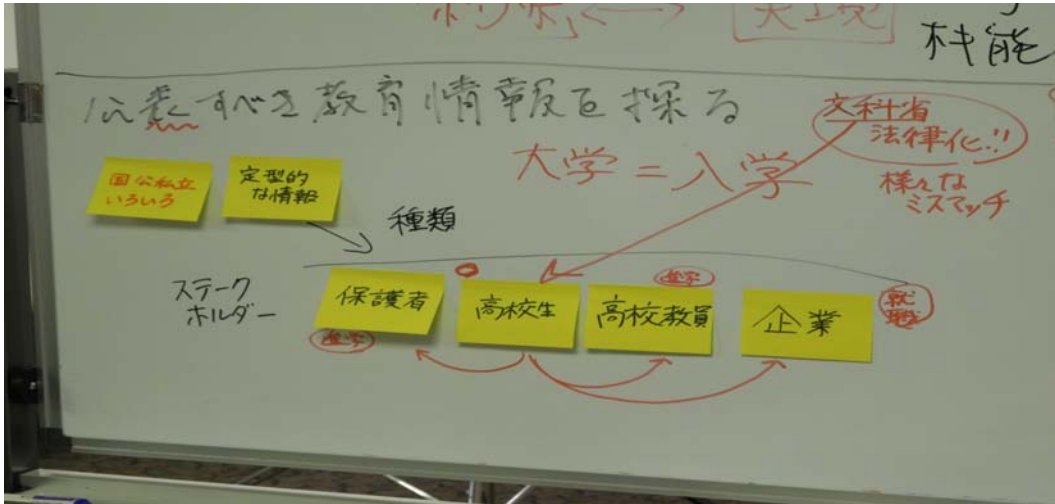
その後「適切な情報」とは具体的に何か、という点まで議論を深め、最終的に「受験生にとって、より良い大学選択が可能になる情報の公表」になった。



討議内容 1

2. 公表すべき教育情報の内容を探る

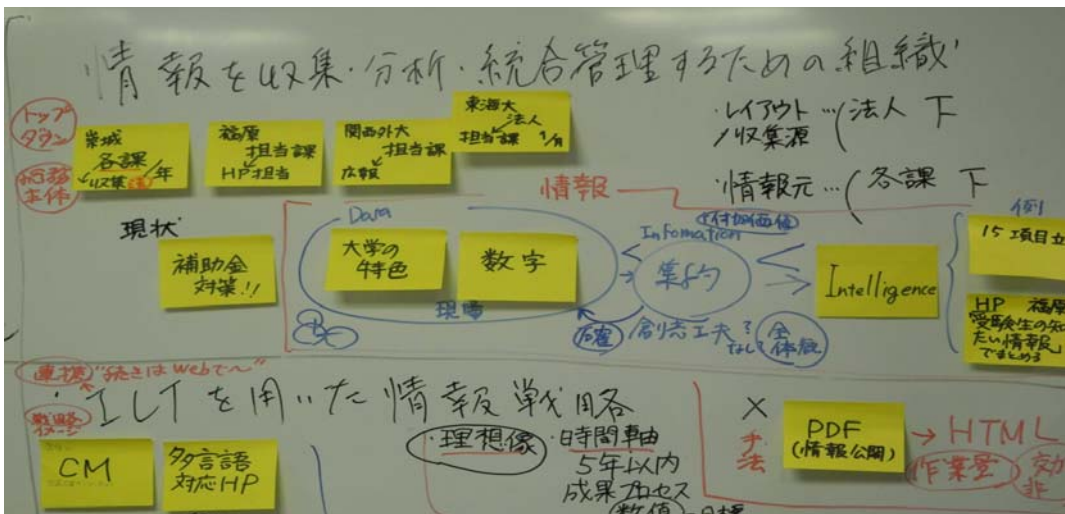
「情報公表の現状」と「情報公表のあるべき姿」について討議した。各大学は情報公表を始めたものの、現状は文科省の定めた定型的な情報の「公開」にとどまっていること、また、ステークホルダーの中でも、それぞれの立場によって求めるもの・興味のある事が違い、大学の「公開」する情報とステークホルダーの求める情報の間に溝（ミスマッチ）がある事を見出した。



討議内容 2

3. 情報を収集・分析・統合管理するための組織的な取組を理解する

各大学の事例を出し合い、結果、ほぼ同様の組織・取組であることが確認された。また、情報を Data⇒Information⇒Intelligence にブラッシュアップするためのアプローチのあり方について議論した。



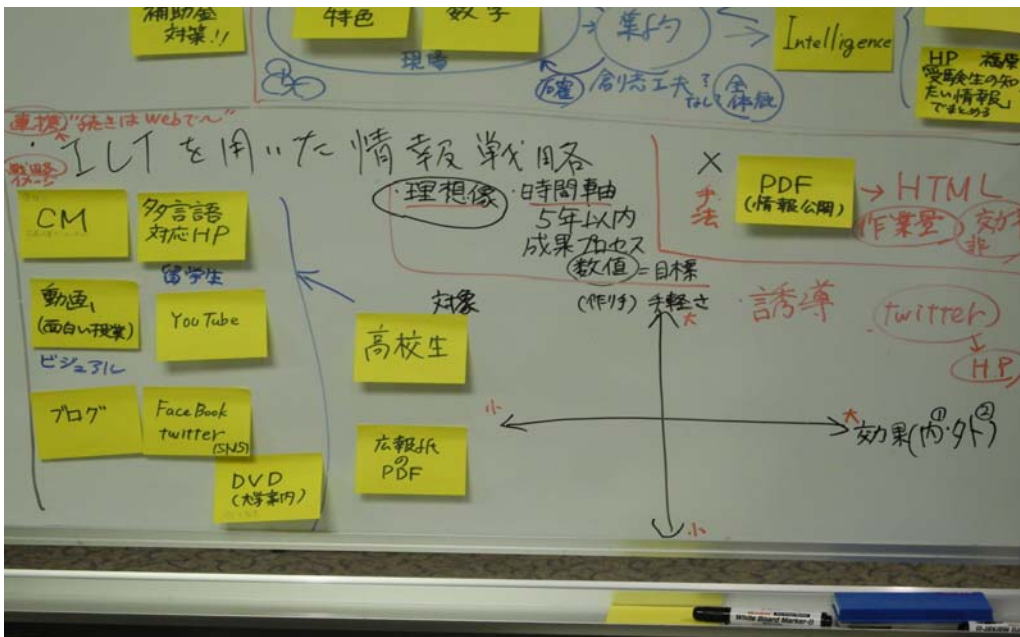
討議内容 3



討議内容 4

4. ICT を用いた情報戦略を探る

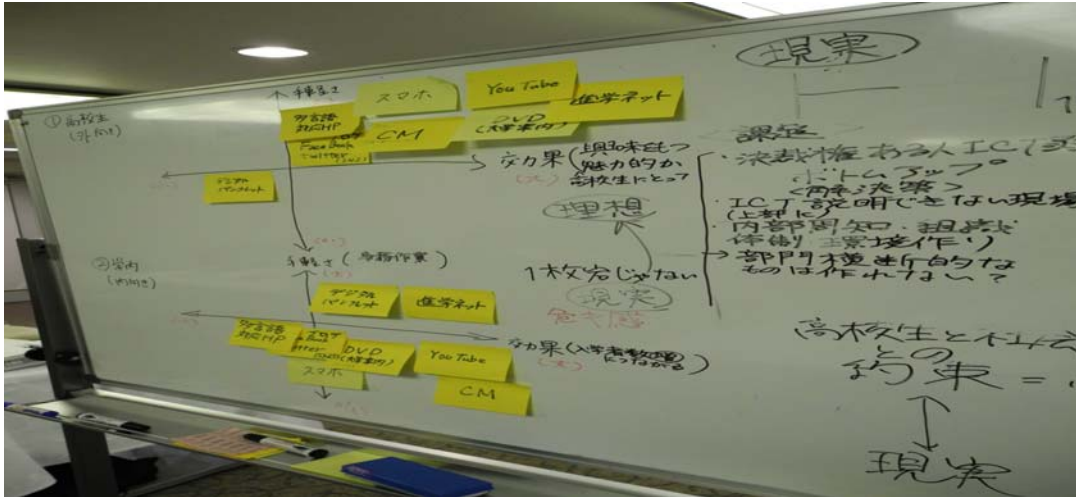
情報戦略のツールとして考えられるものをグループメンバーで出し合った。



討議内容 5

4. ICT を用いた情報戦略を探る (続き)

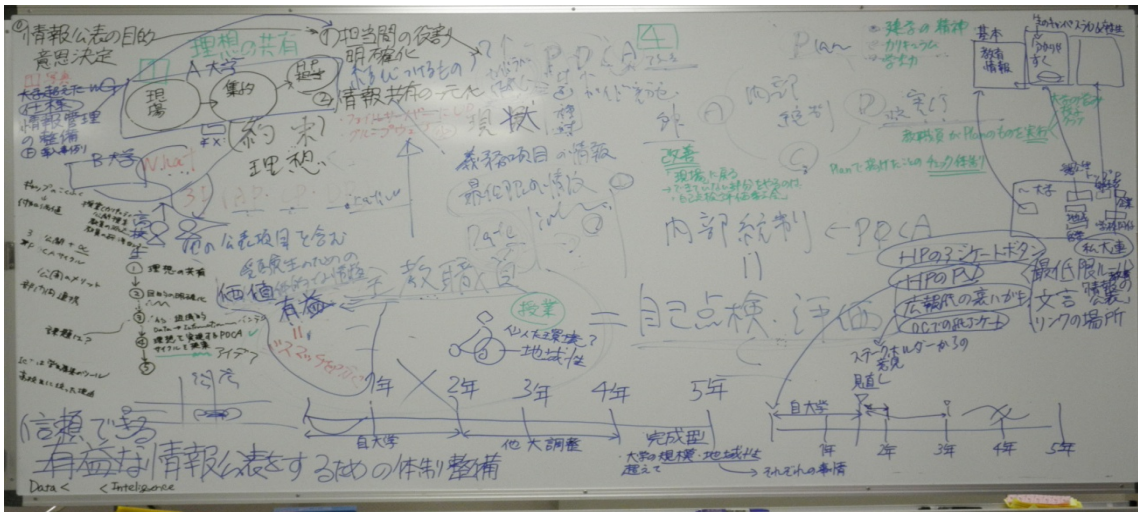
高校生にとって手軽(使いやすい)か、効果的(興味を持つ・魅力的)か、ツール毎に4象限に分類した。また、大学にとって手軽(事務作業量が少)か、効果的(入学者増に繋がる)か、についても同様に分類し、この結果からも理想と現状に溝があることを見出した。



討議内容 6

5. 討議テーマ1～4を踏まえた成果物原案

討議を経て明らかになった現状、理想の実現に向けた具体的な展開について議論した。



討議内容 7

以上の討議を経て、成果物の完成に至った。

成果物については、別紙スライド資料「大学の情報公表における現状から、その理想像を探る」を参照。